令和８年９月号

コミュニティ・スクール NEWS

清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。
各保育・教育現場では、夏の暑さもおさまり活動に集中しやすい時期となりましたが、子どもたちの体調に充分注意を払いながら活動を進めています。
豊穣の時期を迎え、充実した子どもたちの毎日を支えていただいている地域の方々のおかげで、子供たちは元気に活動しています。
今月号においても地域の方々と子どもたちの関わりを中心に、その様子をお伝えいたします。

【清水ブロック】

しみず認定こども園

「旬の贈り物！こども園に届いた美味しいとうもろこし」

８月２５日に梶山農場さんから全園児へ美味しいとうもろこしをいただきました！こども園を代表して、年長のひまわり組が受け取りました。

梶山さんからは、「一つの苗から収穫するのは上の方の２本だけ」「ひげの数だけ実が詰まっている」といったとうもろこしの秘密を教えていただきました。



子どもたちからは、お礼の言葉と心を込めて作ったメダルをプレゼントし、最後はハイタッチでお別れしました。

３歳児・４歳児のお友達も、いただいたとうもろこしを受け取る際にはとても嬉しそうに抱えてい

ました。



　翌日には、子どもたちから「美味しかったよ！」という声がたくさん聞かれました。素敵なお話と美味しいとうもろこしを本当にありがとうございました！

清水小学校

書写ボランティアを活用した習字活動



　書写（毛筆）の授業では、毎年、書写ボランティアの方々にお手伝いをいただいて授業を進めています。今年度は３～６年生に各５回ずつ、書写ボランティアの方々に来ていただき、筆の持ち方や力のかけ方等、様々な技術を児童一人一人に教えてもらっています。

　９月には３回目の書写ボランティアの方々との書写授業がありました。子どもたちのよさを認めながらアドバイスをしてくださるおかげで、清水小学校の子どもたちはとても字を書くのが上手です。また、書写ボランティアの方々との関わりや書写活動の取組が、子どもたちの心を落ち着かせ、集中力を高めることにもつながっています。

　今後も、子どもの心の成長を促す教育を、清水小学校は様々な場面で展開していきます。

清水中学校

２年生　性と生の学習

　９月２日に役場の保健師２名を講師にお招きし、「性と生の学習」を行いま

した。



思春期の心や体の変化、性に関する正しい知識、そして自分と相手の気持ちや人権を大切にすることについて、専門的な立場から分かりやすくお話しいただきました。

生徒たちは、普段はなかなか話す機会のないテーマについて真剣に考え、自分自身の「生き方」や「命の大切さ」について学びを深めることができました。



【御影ブロック】

御影こども園

５年生との交流♪

９月１５日、御影小学校５年生と御影こども園の年長児との交流がありました。



今年も５年生のお兄さんやお姉さんが、楽しい企画をたくさん用意して出迎えてくれました。

最初は緊張気味な子ども達でしたが、転がしドッジボールやレンチン鬼を教えてもらい、体を動かしているうちに、いつもの笑顔が戻ってきました！

この交流のために年長児たちを楽しませようと計画してくれた５年生の気持ちも伝わりました。

いつもは、こども園のリーダーとして過ごしている年長児ですが、この日は「かわいい～」と優しくされて、５年生とのお別れが少し名残惜しそうでした。「楽しかった！また会いたいな～」と話しながら帰ってきました。

来年度は６年生と１年生の関係になります。また一緒に遊んでもらったりお世話してもらったりすることを今から楽しみにしている年長さんです♡



御影小学校

十勝清水学「町たんけん（２年）」「盲導犬学習（６年）」



御影小学校では１学期に引き続き、十勝清水学を各学年で進めております。地域の事業所や関係団体のご協力を得て、町の商業施設や福祉について体験的な活動を行いました。

９月４日は、御影町内のセイコーマートで２年生の「町たんけん」を行いました。店内の商品についての説明だけでなく、普段は目にすることのできないバックヤードについても見学させてもらい、店頭に並んでいない在庫の商品についても理解することができました。



子どもたちは、この先何度となくお店を訪れ買い物をすることになります。

店内に並んでいる商品の裏側にはたくさんの在庫があって、いつでもお客さんが商品を買うことができることを思い出せると思います。



９月１４日は、北海道盲導犬協会の指導員と盲導犬のムネール号が来校し、６年生の「盲導犬学習」を行いました。

はじめの講話では、街中で盲導犬を見かけたときには、「さわらない」「声をかけない」「目を合わせて気を惹かない」「食べものを与えない」と注意することについて理解を深めました。

その後の実習では、目隠しして２０メートル先の椅子まで

「白杖歩行」と「盲導犬との歩行」を行いました。
　「白杖歩行」では半数以上の児童が椅子までたどり着けませんでしたが、「盲導犬との歩行」では、全員が速く椅子まで歩くことができました。
　子どもたちの感想に「盲導犬の補助によって安心して歩ける」というものもあり、視覚障がい者の気持ちを体験を通して理解することができました。



御影中学校

１日防災学校～２学年「HUG」で防災を考える～

　本校では、防災教育の一環として「一日防災学校」の日を設定しております。今年度は、９月１日を防災の日とし、全校避難訓練と２学年によるHUG（避難所運営ゲーム）を実施しました。





　３・４時間目には、町役場総務課近藤参事と秋田主事補をお迎えし、災害発生時に本校に避難所を開設することを想定したＨＵＧ（避難所運営ゲーム）に取り組みました。





　また、６時間目には全校避難訓練を実施しました。清水消防署職員の方々に訓練の様子をご覧いただき、避難時の心構えや行動についてご助言をいただきました。その後、消防署職員の皆様のご指導のもと、生徒代表による消火体験を行いました。



御影地区小中学校
作文朗読意見発表大会

　９月４日、御影公民館において御影地区の小中学校代表者による、作文朗読・意見発表大会が開催されました。

生徒たちは、日頃感じていること、自らの体験を通しての主張等を発表する機会をいただき、多くの地域の皆様の前で、堂々と発表することが出来ました。

